2014年2月10日

各　位

会 社 名　科 研 製 薬 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　大沼　哲夫
（コード番号 4521　東証一部）
問合せ先　執行役員総務部長　渡邊　史弘
（TEL. 03-5977-5002）

バリアント社への技術供与に関するお知らせ

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、社長：大沼 哲夫、以下「科研製薬」）は、Valeant Pharmaceuticals International, Inc.（カナダ・ケベック州、以下「バリアント社」）に対し、爪真菌症治療剤「エフィナコナゾール製剤」における製剤化について、技術供与することで本日合意しましたので、お知らせいたします。

記

1. 技術供与の理由

バリアント社が米国において承認申請中であるエフィナコナゾール製剤について、早期の承認取得を目指すため。

2. 技術供与の内容

科研製薬が有している容器に関する技術の供与、及びそのデータの利用についての許諾。

3. 技術供与先の概要

名称	Valeant Pharmaceuticals International, Inc.
本社所在地	2150 St. Elzéar Blvd. West, Laval, Quebec
設立年	1960年
代表者	J. Michael Pearson （Chairman and Chief Executive Officer）
主な事業内容	皮膚科、眼科を主要領域とした医薬品、OTC製品の開発および販売等
売上高	3,550百万米ドル（2012年）

詳しい情報につきましては“http://www.valeant.com”を参照下さい。

4. 今後の見通し

今回の合意が業績に与える影響については、軽微であると認識しています。

以上

ご参考

- 爪真菌症について

  爪真菌症(爪白癬とも言われる)は、爪および爪床を侵す真菌感染症です。爪真菌症の有病率は成人人口の約 6～8%（日本では有病者数 1200 万人）とされ、もっとも頻繁に観られる爪の病気であり、爪のすべての異常の約半分を占めます。これを治療せずに放置すると、爪は肥厚して局所での圧痛を引き起こすことがあります。

- エフィナコナゾールについて

  科研製薬が創製した新規のトリアゾール系化合物であり、日本国内においては、外用の爪真菌症治療剤「KP-103」として承認申請中です。

  海外においては、バリアント社が米国およびカナダで承認申請しており、カナダについては、2013 年 10 月に承認を取得しております。

  トリアゾール系化合物での外用剤開発は世界初であり、その活性は血清及び角質存在下でも既存治療薬に比較し低下することが少ない薬剤です。従って、角質の厚い部位や爪内等でも優れた活性を示すものと期待されています。また、本剤は、各種真菌症動物モデルにおいて除菌効果が確認されており、その中でもモルモット爪真菌症モデルにおいて、既存薬に比べ優れた効果を示します。このことから、経口剤治療が主流の難治性爪真菌症に対し新しいアプローチの外用治療薬として期待されます。

  2006 年 4 月 26 日付けで、欧米における開発・販売に関し、Dow Pharmaceuticals Sciences, Inc. とライセンス契約を締結いたしました。

  2009 年、バリアント社が本化合物の海外導出先である Dow Pharmaceuticals Sciences, Inc. を買収し、引き続き開発を進めておりました。